

### 1 概要

ウチナーネットワークの継承・発展等を議論する海外ネットワークに関する万国津梁会議は令和2年以降5回の会議を経て、10月に知事に提言書が手交された。追加議題として「第7回世界のウチナーンチュ大会」が挙げられた。

### 2 テーマ設定の考え方にあたって

大会は実行委員会方式で準備が進められ、これまでに、基本コンセプト等を決定した。また、海外ネットワークに関する万国津梁会議では、大会の目的でもあるネットワークの継承・発展に繋がる議論がなされた。

今大会はコロナの影響が残ることが想定される中での開催準備となることから、大会基本コンセプト及びこれまでの万国津梁会議での意見を踏まえWithコロナ時代における大会開催について議論を行って頂く。

第1回実行委員会（令和2年9月）：コロナの一定程度の収束を見込み開催年度を令和3年から令和4年に延期することを決定

第2回実行委員会（令和3年5月）：参加者アンケート等の意見や課題、コロナ禍等を踏まえた大会基本コンセプトを決定

### 3 テーマにおける視点

テーマ「Withコロナ時代における世界のウチナーンチュ大会」

○大会の重要性（理念から抜粋）

- ・ネットワークの強固さの再確認
- ・ソフトパワーの発信、魅力の活用
- ・最新技術活用による持続可能な交流・協力の実践
- ・各地の発展に寄与

○大会の在り方に関する課題

- ・来県が叶わない国内外のウチナーンチュ等
- ・次世代（若者）の参画、県民参加
- ・オンラインでの工夫（体験、共感、一体感）

上記視点を踏まえ、Withコロナ時代に開催される大会の重要性や在り方について委員の示唆を頂く

### 4 スケジュール

- |                    |                          |                   |
|--------------------|--------------------------|-------------------|
| ①R3. テーマ決定         | ③R3.12 会議開催（1回目）実質審議     | ⑥R4.3 知事報告（委員長）   |
| ②R3. 委員への資料提供、事前説明 | ④R3.12-1 意見集約、委員長にて提言案作成 | ⑦R4.4 実行委員会で共有、議論 |
|                    | ⑤R4.1 会議開催（2回目）提言取りまとめ   |                   |

## 5 海外ネットワークに関する万国津梁会議提言（抜粋）

### 【海外ネットワークに関する万国津梁会議提言（抜粋）】 （令和3年10月19日）

#### 【提言1より】

若者が沖縄の文化継承活動により多く参加し、世代間の連携を促進するため、文化に触れる機会の提供

#### 【提言2より】

ウチナーンチュとしての意識を高めるため、沖縄文化を見える化したコンテンツの配信等

#### 【提言3より】

ウチナーネットワークの第一の目的は「繋がる」こと。つなぎ方次第で様々な分野で活用することができる。

#### 【提言4より】

人的ネットワークを繋ぎ、情報の集約と発信を行う場が重要（県内活動拠点と大会の連携）

※同会議で実施されたアンケートでは、ハイブリッド開催を望む意見が多数であった。回を重ねる毎に紡ぎ上げてきたネットワークの糸を切らさないためにも、令和4年度に開催することは重要である。

第7回世界のウチナーンチュ大会開催



#### 【大会開催による提言の実現】

- ・文化に触れる機会の提供
- ・沖縄文化を見える化したコンテンツの配信等
- ・世界各地のウチナーンチュを繋げる場



ウチナーネットワークの更なる継承・発展